

# 丸山さん監査士試験合格

## 県内10人目、女性は16年ぶり

北信州森林組合職員の丸山久美子さん(安源寺が、全国森林組合連合会の森林組合監査士試験に合格し、県内10人目の有資格者となった。



監査士試験に合格「組合のためにがんばりたい」と語る丸山さん

・3rdステージに基づいて組合改革を実行。組織改革でも内部けん制を高めるため、総務課長と会計主任の兼務を廃し、会計主任に丸山さんを任命。中期計画で2015年度からの森林組合監査士確立を掲げており、計画とおりの誕生となった。

試験は昨年12月に実施され、1月に合格発表。今回合格した県内関係者は丸山さん1人で、有資格者の内訳は県連合会6人、森林組合3人、そのほか1人。女性は丸山さんを含め2人となり、女性の合格者は16年ぶり。

試験は東京神田のコープビルで行われ、初日は会計学、監査理論、組合の監査実務、法規、2日目は協同組合論、森林組合論と簿記。会計事務所勤務経験のある丸山さんは、2012年の初チャレンジから3回目にして合格。一番大変だったのが森林組合とは何たるかを述べる「森林組合論だった」と振り返る。

同組合では、11年策定の中期目標「21世紀ビジョン」を達成するために、丸山さんは「まだまだ勉強不足の部分があると感ずるので、今後も努力を重ねながら、組合員のみならずのため、力になりたい」と話している。

### 責任を明確化 他に先駆けた 体制構築を進める

## 北信州森林組合 コンプライアンス順守

森林組合といえば、大北地域で補助金の不正受給が発覚し、森林組合全体の信用が失墜した。これについて北信州森林組合では「コンプライアンス態勢の欠如と役員員の資質が事件の根源と考えられる」と指摘。同組合では、組合長を常勤とするなど責任の明確化を図り、監査士の配置、コンプライアンス順守など体制を構築。

組合運営に関しては、職員を本所に集約し、支所は組合員の窓口の特化。現場体制は各支所に配置されていた作業員を業務課の下で林産班(山ノ内町林産事業所)、造林班(木島平村造林事業所)に2分して直轄管理し、居住市町村に關係なく班編成し、ライブカメラで毎日の出勤を管理できるようにしている。

## 講演や事例発表

23日 農商工連携研修会

中野市は、市内の中小企業  
民会館45・46号会議室で開

(株)丸世酒造店の関晋司さんが事例発表を行う。  
また、北信農業改良普及センター、県中小企業振興センター、市売れる農業推進室による情報提供もある。

## 地域資源で新製品

22日 微生物を知らしましょう

信州中野商工会議所製  
造部会の第3回技術講習会  
本食品分析センター微生物部の吉田信二郎部長。演

専攻修了、日本食品微生物学会評議員。専門分野は食品微生物学、獣医公衆衛生学。

訓練生を募集している。  
訓練期間は、4月10日から7月9日。訓練場所は、長野市南高田の県高齢者生活協同組合研修センターほか。受講は無料だが、テキスト代1万2744円、検定料4320円などは自己負担。資格又専攻科目は、木

で介護  
実践科  
支専校